

こんにちは 町会です

安全・安心な
まちづくり!!

広がる笑顔と
楽しいコミュニティ



新富町会



小伝馬町
三の部町会



晴海町会



**町会・自治会活動に
参加しましょう!**

わたしたちのまち中央区では、子どもから高齢者まで安全で安心して生活できる「遊・職・住」三拍子揃ったまちづくりを進めています。定住人口も若い世代を中心に十三年連続で増加し、にぎわいと活気、活力が一段とみぎつていきます。しかし一方では、町会・自治会活動への関心を持たない方もおり、地域コミュニティ意識や連帯感の希薄化などの課題が生じています。

現在、区内には170を超える町会・自治会があり、防災・防犯活動や清掃美化活動のほか、高齢者への声かけ、盆踊りや餅つき大会など地域コミュニティの核として、さまざまな活動を行い、地域で暮らす皆さんの安全で快適な生活を支えています。

そのなかで特に力を入れているのが、災害や不測の事態に備える防災活動です。小学校などに設置されている防災拠点において、「防災拠点運営委員会」を結成し、日ごろから意識を持って隣近所が協力し助け合う態勢づくりに努めています。

「こんにちは町会です」は、主に町会・自治会に未加入の方を対象に、町会・自治会の活動を少しでも知っていただき、加入・参加へのきっかけとなることを目的としています。

さあ、あなたも町会・自治会の活動に積極的に参加して、快適な地域社会と活力あるコミュニティをとみにつくっていきましょう!

京橋
地域新富のまちに根付いた
餅つき大会

新富町会 会長 川端武二さん



年の瀬も押し迫った十二月二十三日。天皇誕生日にあたるこの日、新富町は毎年、住民や子どもたちのにぎやかな歓声に包まれます。それが、新富町会が開催する『餅つき大会』です。開催は三十数回を数え、新富町会の会長である川端さんも「町会が結成された頃から始まったようですが、何回目になるのかはきつと誰も知らないですよ。」というくらい、昔から続く伝統ある町会行事です。

会場となる新富一丁目の通りは、朝早くから百キロもの餅米が蒸され、午前十時頃から始まる餅つきに向けて熱気に包まれます。二組の杵と臼を使ってペタン、ペタンとお餅がつかれると、威勢の良い音に誘われて多くの住民が集まってきました。つきあがったお餅は、あんこ、きな粉、胡麻、大根おろしとともに配られるほか、赤飯、お雑煮なども用意されており、初冬の寒いこの



時期、集まった人は身も心も温まります。

この餅つき大会には築地警察署と京橋消防署も協力しており、昨年はパトカーや白バイ、はしご付消防車が展示されました。この中で特に子どもたちに大人気なのが、四十メートルの高さまで届く、はしご車への搭乗体験です。消防隊員と一緒にしごの先にあるバスケットに乗ることができ、子どもたちにとっては貴重な体験となりました。

また、参加者を限定せずだれもが参加することができるため、新富町はもちろん、近隣の町からも多くの人々が集まります。昨年は七百人もの人々が楽しみました。

「こうした地域ぐるみの大掛かりなイベントが開催できるのも、多くのの方々のお力の協力のおかげです。町会の役員や関係者の方には年末の

忙しい中、前日から準備に取り組んでいただき、感謝の気持ちでいっぱいです。」と川端さん。



婦人部は、おいしいと評判のお餅の『味』を支え、祭り同好会である新富睦会が『若い力』で協力します。さらに地元商店街の新富商栄会の有志による出店によって『にぎわい』が増すなど、まさに地域一体となつてこの餅つき大会を盛り上げていきます。

町会を通じて広がる
伝統文化とふれあいの輪

川端さんが、「餅つき大会などのイベントを通じて、新しくマンションに越してこられた方や若い世代の方も町会行事に協力してくれるようになりました。だれもが顔見知りのあたたかいまちが理想です。」と語るように、新富町会では伝統とともに、地域の新しいきずなを深めていこうとする機運が高まっています。毎年続く新富町会の餅つき大会も、いまやまちの伝統文化として、すっかり地域に根付いています。

～町会・自治会ネットをご利用ください～

中央区では、町会・自治会への新規会員の加入促進および町会・自治会同士の情報交換等の連携支援を目的とした「中央区町会・自治会ネット」を開設しています。

このホームページでは、町会・自治会に関する情報について、団体検索や情報検索機能により、①各町会・自治会のプロフィール、②イベント案内、③活動報告、④名所名店情報、⑤加入のご案内などが閲覧できます。そのほかにも町会・自治会同士の連絡手段としての掲示板(会員のみ利用可能)や、地域に密着した行政情報などを掲載しています。「中央区町会・自治会ネット」をまちの魅力を共有する一手段として、積極的にご利用ください。

URL <http://chokai-jichikai.genki365.net/>

※中央区のホームページからもリンクがありますので、ご利用ください。

ご質問やご不明な点がございましたら、下記までお問合せください。

【連絡先】 区民部地域振興課自治振興係 03-3546-5337



日本橋
地域あらゆる事態を想定した
防災訓練で災害に備える

小伝馬町二の部町会 会長 新井一雄さん

地震や火災などの災害が発生した場合、地域住民が協力して被害を最小限に食い止め、人命を第一に救護活動にあたるのが何よりも大切です。中央区では、万一の災害に備え、町会・自治会を単位として防災区民組織を設置し、地域の防災力向上を図るため二つの防災訓練を実施しています。

一つは、複数の町会・自治会で組織する『防災拠点運営委員会』が実施する訓練。そしてもう一つは、『町会独自』の防災訓練です。規模は小さいですが、住民の細かいニーズにこたえられることがその利点です。

日本橋にある小伝馬町二の部町会は、毎年三月、近くの十思公園で地域住民のための防災訓練を実施し、災害に備えた地域の協力態勢を強めています。前回の訓練では約三十名が参加し、十思スクエア



内では日本橋消防署の協力の下、三角巾やAED(自動体外式除細動器)を使用した応急救護訓練を実施しました。特にAEDの操作訓練は住民の要望も多く、参加した

方は熱心に使い方を学んでいました。続けて行われた初期消火訓練では小型ポンプ車を使用するなど、小伝馬町二の部町会の防災訓練は実戦力を重視しながら住民の要望も取り入れているのが特徴です。

「防災への意識を高め、災害に強い町づくりを」

「災害時の一番身近な活動単位は町会です。いざ災害が起こったときにきちんと行動できるように、地域住民が一体となって訓練しておくことが何よりも重要だと思います。」と、小伝馬町二の部町会会長の新井さんは、防災訓練の必要性を熱心に語ります。

「防災への意識を高めるため、毎年趣向を凝らした防災訓練を心がけています。」
数年前には災害時用のかまどを

活用して炊き出しを行ったり、十思公園内に設置された「時の鐘」を火災現場に見立てて放水訓練を行ったこともあったそうです。

また、新井さんや役員の方々は、参加した住民に対して『食糧や水の備蓄の大切さ』など、日ごろの備えについてさまざまなアドバイスも行っています。その他にも、町会が所属する十思スクエア防災拠点運営委員会が主催する防災拠点訓練への参加はもちろん、他の町会が開催する防災訓練などにも進んで参加しているそうです。

新井さんは、「一人でも多くの住民の方に参加してもらい、防災意識を高めてほしいですね。今は企業の方の参加が少ないですが、地域の防災力を高めるためにも、積極的に参加してもらえようように声をかけていこうと思っています。」と企業の参加も呼びかけます。防災訓練を通じて災害に強いまちづくりを進めるとともに、町会と住民、企業との相互の結びつきがより一層強くなることが望まれます。



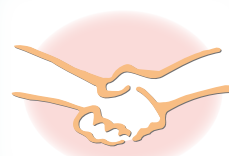
～中央区の企業の皆様へ 町会では法人企業会員の方も募集しています～

江戸開府以来400年以上にわたり、文化・商業・情報の一大中心地として発展する「中央区」には、4万4千の事業所に72万人の従業員が働いています。

このまちが、ひとたび大地震などの災害に襲われれば、多くの方が地域にあふれ大混乱を招く危険性があります。

町会は地域の活性化とともに、行政と連携して防災・防犯活動など安全で安心して暮らせるまちづくりにも貢献されています。日頃から町会との連携を深め、地域間での協力体制を築いておくことが大切です。また、盆おどりや餅つきなど、町会が主催するさまざまなイベントに参加することができ、日中多くの時間を過ごす地域の方との交流を図ることもできます。

ぜひ、町会未加入の企業の方は、これを機会に加入しましょう！



月島
地域晴海地域の「コミュニケーショ
ンセンターとして

晴海町会 会長 沖 義康さん

晴海地域には、企業が多く立地しており、住民と企業がコミュニケーションを図り、地域のパートナーとして良好な関係を築くことが望まれています。

晴海トリトンスクエアの朝潮運河沿い歩行者専用区道を、数万本のバラの花びらによる花絵のじゅうたんで埋め尽くす晴海インフィオラータ。十回目を迎えた今回は、「大空の感謝祭」をテーマに、素晴らしい作品たちが多くの人々を楽せました。

法人会員が主体となつて運営されている町会

この晴海インフィオラータの開催において重要な役割を果たしている団体の一つが、晴海町会です。晴海町会は晴海全域の企業・団体などを法人会員として、昭和五十一年に発足し、現在は法人会員のみに構成されているのが特色の町会です。

「企業・団体と住民が融合して暮らしやすく働きやすい地域をつくるのが、町会の目標です。」と、信念を語るのは、会長の沖さんです。「企業も災害時などに備えて

自助努力する必要があると思います。また、地域の一員としてさまざまな町会活動に参加したりイベントにも協力してほしいですね。」と、地域に密着することの大切さを話してくれました。

沖さんの日頃からの働きかけなどにより、土曜日や日曜日が定休日となる企業・団体が多いなど、活動面の制約があるなかで、工夫をしながらさまざまな地域活動に参加しています。

晴海町会は、平成十二年に晴海地域の集合住宅などの自治会と連携し、地域住民と企業・団体がお互いに協力し合いながら、行政との連携を深め、さまざまな問題を解決するために晴海連合町会を結成しました。その中で沖さんは、連合町会が行う盆踊りや防災活動、再開発に伴



う環境保全活動など地域住民の活動に地元企業を巻き込み、地域とのつながりを強めるため活躍されています。

そして、晴海インフィオラータもその活動の一つです。

このイベントは、晴海トリトンスクエアと晴海連合町会がインフィオラータ実行委員会を組織し、諸準備と当日の運営を行います。スタッフは三カ月前からミーティングを重ね、工程表により業務分担を決め、当日はバラの花から花びらを分けたり、花絵制作やメンテナンス、観覧車の安全管理、場内整理などに中心メンバーとして関わります。

「都合が悪くなつて他の自治会と役割分担などを調整することも、コミュニケーションを図る良い機会」と沖さん。

約六百人の参加者が数万本のバラの花びらを飾り付けていく晴海インフィオラータは、住民と企業・団体が一体となり、良好なパートナーシップを築く成功例といえるでしょう。



「こんにちは町会です」掲載町会・自治会募集!

平成22年度より「こんにちは町会です」が年2回の発行となりました。この機会にあなたの町会・自治会を紹介してみませんか?

掲載にあたりましては、過去の「こんにちは町会です」で紹介していない町会・自治会の記事を最優先とさせていただきます。また、本情報誌の目的により、町会・自治会に未加入の方でも参加できるイベントを中心に掲載させていただきます。

ご担当者様のお名前、電話番号、所属町会・自治会名、紹介したいイベント、開催日時など、下記までご連絡ください。

【連絡先】 区民部地域振興課自治振興係 03-3546-5337

